



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和元年9月発行 no.26

INCINN

【特集】 これからの

日野郡を考えよう

- 日野郡からスマート農業発進!
- 伯爵国「大山開山1300年祭」
日野郡の秋を体験しよう!
- 日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取
- 日野川の源流と流域を守る会
イベント情報
- 日野郡で輝く人
「にちなん日和 実行委員会」
- 加工食品は新しい表示に
なっていますか?
- 鹿のお話 (後編)

特集 これからの日野郡を考えよう

- ◇人口が減少し高齢化が進む中山間地域の生活環境は、100年に一度の大きな転換期にあるといわれています。その中であっても**住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、医・食・住を将来にわたって維持できる**よう、**一歩進んだ新しいアイデアを取り入れた持続可能な地域づくり**を行うことが求められています。
- ◇日野郡をはじめ県内の様々な地区で、住民の皆さんのアイデアや思いが込められた新しい取り組みが進められています。地域の課題に対応するため住民の皆さんが丁寧に話し合い、行政や公的団体の支援を上手に活用しながら、具体的な取り組みを実現された事例を紹介します。
- ◇日野振興センターでは、各町役場と協力して集落の取り組みを支援していますので、一緒に考えてみませんか。

「おしゃべりカフェ」(日野郡日野町黒坂)

孤立を防ぐ地域のコミュニケーションの場
運営:おしゃべりカフェの住民グループ



98歳の患者さんも徒歩で来院。
「近くに診療所があって安心です。」



コーヒーを飲みながら、ゆっくりおしゃべり。

住民の皆さんに
健やかに安心して
暮らしていただけるよう
がんばります!!



井上医師(鳥取大学医学部
地域医療学講座講師)と
池田看護局長(日野病院)

「おしゃべりカフェ」は、日野町黒坂地区の住民の皆さんからの「一人暮らしの高齢者でも孤立しないよう、みんなで集まって気軽に話をする場が欲しい」という意見を受け、日野町と県の協力により、平成25年に日野町公民館の中に開設されました。公民館には、日野病院の黒坂診療所が開設されており、週2回の診療の日に合わせてカフェもオープンします。カフェはボランティアの住民の皆さんによって運営されており、本格的なコーヒーが提供される地域のコミュニケーションの場として親しまれています。

「小さな拠点」俣野ふれ愛学舎(日野郡江府町俣野)

医療機関と連携した健康と安心のまち 運営:江府町の地域医療を支援する会



奥大山にふさわしい木造建築



オレンジカフェの様子

「俣野ふれ愛学舎」は、住民の皆さんが健康で安心して暮らしていくための拠点施設として、日本財団の支援を受けて旧俣野小学校の校舎を改修して設置されました。地域の皆さんが管理運営を担って、地域の診療所の開設、認知症を予防するためのオレンジカフェ、児童を対象にした子供サロンなど、幅広い年代の住民に向けた取り組みを行っています。

また、将来の地域医療を担う人材を育成するための拠点施設として、鳥取大学医学部の地域医療サークル(地域医療研究部)の活動拠点や地域医療の研修の場などとしての活用も大きく期待されています。



鳥取大学医学部地域医療研究部の活動の様子



江尾診療所の武地区医師や江府町の保健師がアドバイス

「小さな拠点」ホームランド多里(日野郡日南町多里)

住民共助による地域交通と食の確保 運営:多里地域振興組合



夕ターンされた方が収穫した初物のリンゴを持参、スタッフと話に花が咲きます。



地域循環カー



地域の食材を使った手打ちそば

高齢化した地域の住民の健康と活力を守っていくために地域で話し合いを重ねて、「多里は大きなサ高住(サービスタワー)付き高層住宅」というコンセプトが決まりました。

多里地域振興組合とNPO法人「多里まちづくりサポートセンター」が連携し、高齢者の自宅への配食サービスと見守り支援、外出支援などの取り組みを行う体制を構築し、地域の食材を使った食堂や日用品等の販売を行っていたホームランド多里を拠点施設として改築し、新しい地域循環カーも導入されました。今後は、次世代の担い手の確保と育成に向けた取組を進められるとのことです。



「小さな拠点」ホームランド多里として
リニューアルオープン(H31.3)

他市町村における取組

高校生送迎プロジェクト (大山町大山地区)

大山地区は集落が広域に点在するため公共交通の整備が困難で、高校生のJR駅への送迎が保護者の大きな負担になっていました。駅から地域の拠点までの送迎を高校生がスマートフォンで依頼するLINEアプリで依頼し、対応可能な保護者が引き受けるシステムを、住民グループ「まちづくり大山」が構築。幅広い世代が支え合う地域づくりを目指しています。



リニューアルオープン記念式典(H29.6.15)



店内の様子

「支え愛の店ながえ」 (米子市永江地区)

地域から小売店が撤退して交通手段を持たない高齢者等の買い物困難になったため、永江地区自治連合会が「支え愛の店ながえ」という商店を開店。平成29年に少し大きな店舗に移転し、健康づくり体操、コミュニティ食堂、交流サロン、買い物代行、配達などの取り組みを充実させ、地域の多様な世代が関わる持続可能な運営に発展させました。

- ◇内閣総理大臣の諮問機関である地方制度調査会の中間報告で、近い将来(2040年)の市町村の姿に関して、人口減少や高齢化により行政も人手不足となり、行政サービスのコストを負担する人も少なくなってくる、などの状況が取り上げられています。
- ◇行政のパワーが小さくなる中でも、医療・介護、買い物、地域交通など、集落で安心して暮らしていくための取り組みは充実させなければなりません。それぞれの集落に歴史や地域性があり、ひとまとめに考えることはできませんが、5年後・10年後の「我が集落」の姿を想像して、今から「できること」を考えてみる時期なのかもしれません。

日野郡の秋を体験しよう!

大山・日野川源流の日野郡には、語り継ぎたい歴史や文化がたくさんあります。秋の日野郡を体感できるイベントを紹介します。

祝! 都合山たたら跡県指定史跡

奥日野たたら2Weeks

～たたら製鉄をまるごと楽しむ2週間～

期間 10月19日(土)～11月3日(日・祝)

- 都合山たたら遺跡に小屋を建てよう!(仮)
たたら操業時の遺構が良好な状態で残っている貴重な都合山たたら遺跡。その遺跡内にみんなで一緒に小屋(ミニ休憩所)を建てるイベント。遺跡解説やAR体験も楽しめます。

開催日 10月19日(土) ※予備日20日(日)

場所 都合山たたら遺跡

- 令和のふいご祭

その昔、ふいごに酒食をお供えて祝っていたことが起源といわれるふいご祭。令和元年は、砂鉄から鉄をつくる作業を再現したミニたたら操業体験、ペーパーナイフを作る鍛冶屋体験などができる学習体験イベントに。たたら文化を丸ごと楽しもう!

開催日 11月3日(日・祝)

場所 日野町役場前広場など



※期間中は、他にもたたら科学子どもワークショップや、たたらまち歩きツアー(10/26予定)など実施予定。詳細は下記問い合わせ先まで。

奥日野たたら里づくりプロジェクト実行委員会
電話:0859-72-2101(事務局 日野町役場産業振興課内)

※県内の「大山開山1300年祭」関連イベントについては、伯耆国「大山開山1300年祭」ホームページをご覧ください。 <http://www.daisen1300.org/>

奥大山古道ウォーク

原生林、美しい農山村風景の中に残る奥大山古道を歩くウォーキングイベント。伝統の「下蚊屋荒神神楽」の鑑賞も楽しめます。後醍醐天皇ゆかりの「御机だんご汁」の振る舞いや地元の新鮮野菜と新米の販売などもあり、奥大山の魅力を一度に満喫できる一日です。

開催日 11月10日(日)

場所 奥大山エリア(鍵掛峠、御机、下蚊屋)



奥大山古道保存協議会
電話:0859-75-6007(事務局 江府町観光協会内)

その他、日野郡の大山開山1300年祭イベント

- 奥大山うまいもん祭り

期間 10月26日(土)・27日(日)

場所 エバーランド奥大山

- 茅葺小屋・銀杏並木ライトアップ

期間 未定

場所 御机 茅葺小屋

洲河崎 江府町運動公園銀杏並木

錦秋の大山環状道路を歩こう



今年もやります!
大山環状道路を通行止めにして、車が通らない広いブナのアーチの中で、大山の紅葉を心ゆくまで満喫しませんか。

令和元年10月26日(土)
午前7時～午後2時
歩行者に無料開放!

同日、車両通行規制区間で3コースのウォークイベント(有料)が同時開催されます。
※詳細はホームページで随時更新していきます。

無料シャトルバスが運行されます

大山寺～樹水高原～大山まきばみるくの里は無料シャトルバスをご利用ください。
※規制区間内のシャトルバス運行はありません。

無料駐車場があります(約1,350台)

・大山寺(博労座)…760台・樹水高原…190台
・エバーランド奥大山…400台

車両の通行規制のお知らせ

時間:午前7時～午後2時
区間:樹水高原～エバーランド奥大山(7.5km)
対象車両:全ての車両が通行止めです
※区間内は緊急車両のみとなります。

他にも多彩なイベントが催されます。ホームページ等でチェックしてGO!
内容の詳細については、ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

HP <https://www.pref.tottori.lg.jp/seibu-shinkou/>

奥大山満喫ウォーク実行委員会(鳥取県西部総合事務所)電話:0859-31-9372

日野郡からスマート農業発進!



スマート農業って?

皆さんはTVドラマで無人で走るトラクターの話を観られましたか。あれはTVだけの話と思われていませんか。日野郡でもそのような「スマート農業」(ロボットや情報通信技術などを活用して超多収・超省力化を実現する農業のこと。)による水稲での実証試験が、県内でトップを切って、今年の5月から始まっています。



ドローンによる播種

「スマート農業」により期待される効果(農業経営・人・農地)

- 作業時間の短縮、資材費等の低減
- 中山間地域の畦畔管理などの疲労軽減
- 勤や経験のデータ化や地図による見える化

少ない人数や経験が浅くても効率的な営農が可能になる!

実証の内容は?

日南町印賀の株ファームイングで、以下の内容を鳥取県農業試験場、鳥取大学やメーカー等と連携して進めています。

- 「ドローン」種もみの播種、農業・肥料散布など一連の作業の省力化体系
- 「田植え機」田植と同時に土の深さ肥沃度を測定し自動調整で施肥+「乗用管理機」葉色で量を調節して追肥+「コンバイン」収量や品質等を記録しながら収穫、を組み合わせた体系
- 「リモコン式自走草刈機」通常の草刈り機使用との比較検討

今までの経過や現在の状況は?

- 5月15日にドローンでの播種、5月16日に田植、6月からリモコン除草が始まり、生育はおおむね順調で、今後は所定の作業を行いながら関係者と生育調査などを進めていきます。
- 農家から、「ドローンで高濃度・少量の肥料などが短時間で均一に散布できる。」「各種機械で水田の状態をデータ化できれば未経験者へ匠の技術が継承でき雇用の幅が広がる。」「リモコン除草機で作業が非常に楽になった。」などの評価がありました。
- 改善が望まれる点は、スマート農機の価格がかなり高い、リモコン除草機では刈れない箇所がある、スマート農機を有効活用するためには農地の再整備が必要になる、などがあげられます。

- 現在は開発段階の農業機械であり、これから2年間、日野郡での効果を検証していきます。このような実証が全国で進んでおり、遠くない未来に、もしかすると人口減少や高齢化による農業の担い手減少を克服できるものが日野郡で出てくるかもしれません。



乗用管理機による肥料散布



リモコン式自走草刈機

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

日南町の魅力ある食、自然、文化などをイベントを通じ発信!!

「にちなん日和 実行委員会」

実行委員長 大塚裕介 さん(日野郡日南町霞)

「にちなん日和 実行委員会」は、約20名の若手が日南町の未来やブランディングについて語り合い、関係人口の増加に結びつけるためのイベントなどを行っているグループです。立ち上げ当初の平成29年は、「道の駅にちなん日野川の郷」を会場に「第1回ライスパーガーフェス」を開催。翌30年の春と秋には女性や子供をターゲットに「にちなんめしふえす」を開催し、約1,400名の町内外からの参加者で賑わいました。今年は、「木のお弁当箱づくり」などの体験イベントをプラスして、日南町の食や自然、文化を広く発信。

日南町を愛する元気な若者のパワーでまちに人を呼び込む仕掛けづくりを行っています。



にちなん日和のメンバー
にちなん日和「第4回にちなんめしふえす」は、今年の10月20日(日)午前10時から道の駅において開催予定です。「まるごと日南を楽しむ」をテーマに、食のブースのほか、白谷工務の寄木南を築き「木のお弁当箱づくり」各種企業によりお仕事体験など、魅力的なイベントが盛りだくさんです。日南町の魅力がいっぱいのイベントに、皆様ぜひお越しください!!



日南町産米を使ったライスパーガー
(H29.10.22 にちなんライスパーガーフェス)



古民家かつみやの
五平餅づくり体験で
にぎわう会場
(H30.10.14第3回
にちなんめしふえす)



抽選で日南町産米10kgを贈呈
(H30.10.14第3回にちなんめしふえす)

日野振興局 地域振興課

電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

食品の製造・加工・輸入・販売を行うすべての事業者が対象です

加工食品は新しい表示になっていますか?

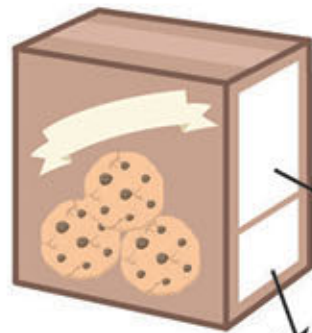
~2020年3月末までに表示の切替を~



主な変更点

- ① 添加物は原材料と明確に区分してください。
- ② アレルゲンは原則省略せずに表示してください。
(「うどん(小麦を含む)」「マヨネーズ(卵を含む)」「生クリーム(乳成分を含む)」など)
- ③ 製造所(加工所)の所在地を表示してください。(製造所固有記号は原則使用できません)
- ④ 栄養成分表示をしてください。(項目:熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量。省略規定あり。)
- ⑤ 使用重量が一番多い原材料の産地(製造地)を表示してください。

※⑤は2022年3月末までが切替期間



表示例

④ 栄養成分表示(食品単位当たり)

熱量	●●kcal
たんぱく質	△△g
脂質	▲▲g
炭水化物	■ ■g
食塩相当量	□□.□g

名称	焼き菓子
原材料名	チョコレート ^② (乳成分を含む、ベルギー製造)、 ^⑤ 小麦粉、バター、砂糖、卵、加工油脂、食塩
① 添加物	乳化剤(卵由来)、膨張剤、香料 ^②
内容量	200g
賞味期限	令和元年12月31日
保存方法	直射日光を避け常温で保存
製造者	西部太郎 ^③ 鳥取県日野郡○○町□□□1-1

日野振興センターだより

【添加物、アレルゲン、製造所、原料産地のこと】 生活環境局生活安全課 電話:0859-31-9321 FAX:0859-31-9333

【栄養成分のこと】 福祉保健局健康支援課 電話:0859-31-9319 FAX:0859-34-1392 食品表示 検索

森の職人たちがチェーンソーの技を競う 日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取



林業アカデミー学生によるチェーンソー
技術の研鑽の様子

チェーンソーの安全かつ正確な操作技術を競う「日本伐木チャンピオンシップin鳥取」(主催 日本伐木チャンピオンシップin鳥取実行委員会)が、本年11月に鳥取市福部町で開催され、日野郡内からも出場者が見込まれています。この大会は安全技術の向上や林業の魅力を広くアピールするために行うもので、これまで2年に一度開催されてきたJLC(日本伐木チャンピオンシップ、これまで青森県で開催)の中間年となる本年、西日本では初めて開催されることとなりました。

日南町に今春開校した「にちなん中国山地林業アカデミー」の学生も初心者ビギナークラスに出場する予定で、競技に向けて伐倒など技術の研鑽を積んでいます。この大会への取り組みをとおして、人材の育成や現場での安全技術の向上が図られ、事故の減少に結びつくことが期待されています。この取り組みにご注目ください。



- 開催概要**
- 開催日 令和元年11月9日(土)・10日(日)
 - 会場 鳥取砂丘オアシス広場(鳥取市福部町湯山)
 - 開催内容 伐木競技大会
【経験者プロフェッショナルクラス、初心者ビギナークラス 計約100名】
 - ①伐倒、②丸太合せ輪切り、③枝払い、④接地丸太輪切り、⑤ソーチェンの着脱の5種目(初心者ビギナークラスは①、②、③の3種目)
 - 飲食コーナー、チェーンソーアート、体験コーナー、林業機械展示等

日野川の源流と流域を守る会 イベント情報

「日野川の源流と流域を守る会」では、日野川の自然を守り、恵まれた環境を次世代に引き継いでいくための活動を行っています。活動の一環として日野川流域での自然保護活動や、自然、歴史、生活文化などに触れる体験イベントなどを実施しています。今後、次のイベントを開催する予定です。イベントには会員以外の方も参加できますので、ぜひご参加ください!

都合山たたら散策ツアー

日野郡内の「たたら」に縁のある場所を周遊しながら、歴史・文化を学びます。

- 開催日 10月12日(土)
- 場所 日野町・日南町内 ■定員 20名



日野川源流探訪

専門家に自然解説していただきながら、「日野川源流の碑」を目指して散策します。

- 開催日 10月19日(土)
- 場所 日南町新屋 ■定員 30名



(過去のイベント開催時の様子)

※イベントの日時、内容は変更される場合があります。

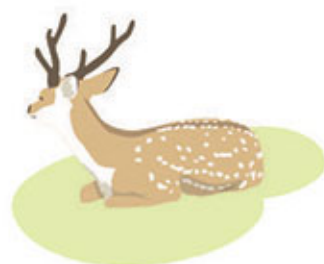
日野川の源流と流域を守る会事務局(日野振興センター日野振興局内) 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

鹿のお話(後編)

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下 卓也



猪(イノシシ)による被害といえば、そのほとんどが「農作物被害」または畦畔等の「農業施設被害」を指します。でも、鹿(シカ)は「農地」だけではなく「山林」にも被害を発生させます。広大な山林では人の目が届かず、被害は静かに始まり、気が付かないうちに広がります。シカが増えることで、どのような問題が発生するのでしょうか？



角研ぎの痕跡

① 林業被害

シカは本来、平坦な土地で、草原と森林がある場所を好みます。そのため、山林を広く伐採し、開けた場所になると、日当たりが良くなり、草が生えるので、絶好の生息場所になるのです。そこに植林しようものなら、幼木の葉や樹皮が食べられ、育たなくなってしまいます。ほかにも、前回お話した袋角から固い角に変わるときに、角を樹木にこすりつけて袋を破る行動(角研ぎ)をします。その際に樹木に傷がつき、樹木が腐ったり、商品価値が下がったりします。

② 下層植生の衰退

シカは地面に生えている草をどんどん食べていきます。シカの生息数が増えれば増えるほど、地面に近いところの植物が食べつくされてしまいます。このような状態を「下層植生の衰退」と言います。こうなると困ったことが起こってきます。

まず一つ目は、生物多様性の担保ができなくなるということです。山林内はシカの好む植物が食べつくされ、好まない植物だけが残し、偏った植生に変わってしまいます。無くなった植物をエサや隠れ場に使っていたシカ以外の動物や虫たちが生息できなくなってしまい、さらに山林を以前とは違う姿に変えてしまうのです。

二つ目は、下層植生を食べつくし、さらに落ち葉まで食べてしまうと、地面が露出した状態になり、降った雨が表面を流れ出し、土壌流出が発生します。水の吸収が悪くなったこの状態では、地崩れの可能性が高くなり、非常に危険です。



下層植生の衰退

シカにとっては普通に生活しているだけなのですが、生息密度が高くなると、現在の生態系、ひいては私たちの暮らしを脅かす可能性のある動物なのです。イノシシと同様、シカについても、「寄せない・入れない・捕まえる」という3つの被害対策が有効ですが、まずは現況をしっかりと把握しなければいけませんので、**目撃情報を最寄りの役場または日野郡鳥獣被害対策協議会までお知らせください。**



日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399



表紙写真

タイトル:心写す「大山」山麓

撮影者:日野町 松本 利秋 氏(写友会ひの)

撮影者コメント:豊峰大山(南壁)がそびえる江府町。町内どこからでも、その雄姿を見ることができますが、中でも御机集落にある山小屋と大山の景観は格別で、四季折々に美しく、そこに立つと心が洗われます。晩秋には、小屋に寄り添う柿が赤く実り、大山の峰がきわだって美しく見えます。この自然を大切に守っていききたいと思います。